

従業員 300 名以上の企業に勤務する全国の 1,063 名を対象にしたアンケート調査
業務に支障のあるクラウドメールの障害は
約4割の企業で「1年に1回以上発生」
クラウドメールの障害対策を導入または検討している企業は約 7 割

法人向け電子メールのセキュリティ対策・コンプライアンス対策の専門企業、サイバーソリューションズ株式会社（東京都港区、代表取締役社長 林 界宏）は、2023年1月6日から2023年1月10日まで、全国の従業員 300 名以上の企業に勤務する合計 1,063 名を対象に、「企業のメールセキュリティへの取り組みに関するアンケート調査」を行いました。その結果、クラウドメールを利用している企業は7割以上ですが、半数弱の企業で1年に1回以上、クラウドメールの障害が発生していることが示されました。クラウドメールの障害対策を導入または検討している企業は約7割でした。この調査結果から、たびたび発生するクラウドメール障害に対して、障害発生時も事業継続するための対策を準備する企業が多いことが分かりました。

【注目ポイント】

Topic1. 勤務先の電子メールはクラウドが3/4、オンプレミスが1/4、

製品別では Microsoft 365 が 57.2%と過半数

Topic2. 約4割の企業でクラウドメールの障害が1年に1回以上発生

Topic3. クラウドメールの障害対策について、導入または検討している企業は約7割

Topic4. 企業規模が大きいほどクラウドメールの障害対策の導入率は高い、5,000人以上の大規模企業では約8割が対策を導入または検討している

(参考)調査レポート「クラウドメールの障害対策」：<https://m.cybersolutions.co.jp/44qG7qi>

● 調査結果

Topic1. 勤務先の電子メール環境はクラウドが3/4、オンプレミスが1/4、

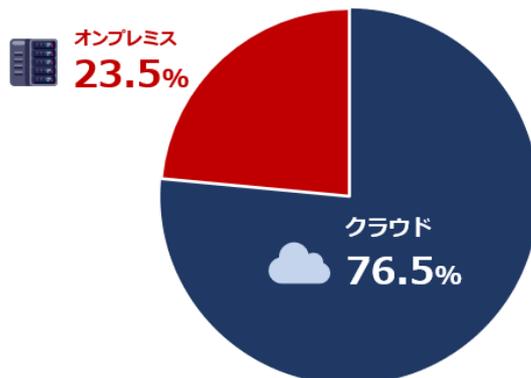
製品別では Microsoft 365 が 57.2%と過半数

Q. あなたの勤務先の電子メール環境についてお答えください。複数ご使用の場合はもっとも頻繁にご使用いただいているものをお答えください。(単一回答)【対象：システム担当者のみ】

・勤務先の電子メール環境は、クラウドが76.5%、オンプレミスが23.5%です。

勤務先の電子メール環境

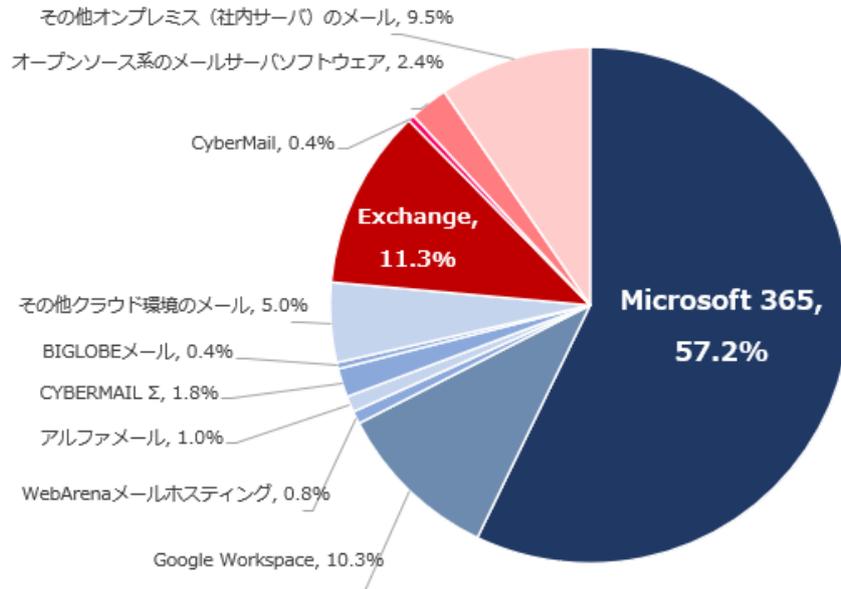
(システム担当者のみ、「その他」「わからない・答えられない」を除く、n=505)



導入している製品は、Microsoft 365 が 57.2%と過半数を占めます。

勤務先の電子メール環境

(システム担当者のみ、「その他」「わからない・答えられない」を除く、n=505)



Topic2. 半数弱の企業でクラウドメールの障害が1年に1回以上発生

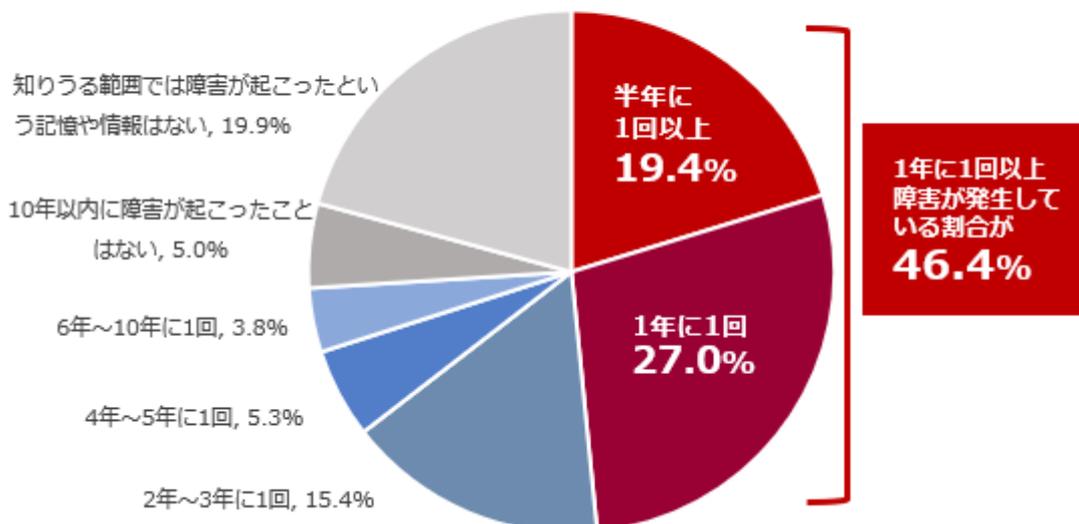
Q. あなたの勤務先が導入するクラウドメールに障害が起こり、業務に支障を与えたことは、平均するとおよそどのぐらいの頻度で発生していますか。(単一回答)【対象：システム担当者、かつクラウドメールを使っている人のみ】

<全体>

クラウドメールの障害が1年に1回以上発生している割合は46.4%と半数弱です。

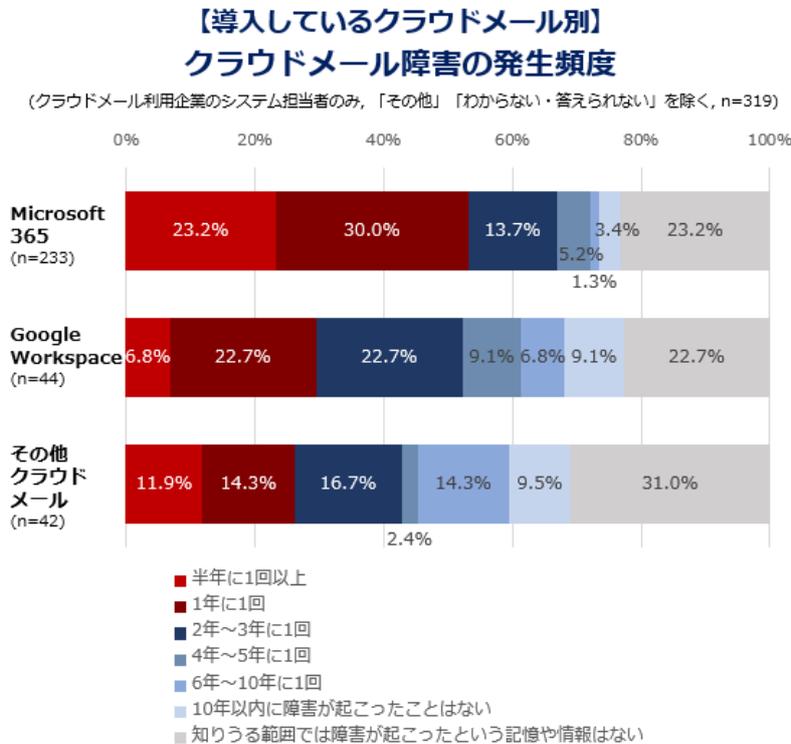
クラウドメール障害の発生頻度

(クラウドメール利用企業のシステム担当者のみ、「その他」「わからない・答えられない」を除く、n=319)



<導入しているクラウドメール別>

Topic1 から、導入しているクラウドメールは「Microsoft 365」が過半数ですが、Microsoft 365 で「1年に1回以上」の障害が発生している割合は 53.2%です。その割合は「Google Workspace」（29.5%）や「その他のクラウドメール」（26.2%）より多く、これが全体の傾向に大きく影響を与えています。



Topic3. クラウドメールの障害対策、約 7 割が対策を導入または検討している

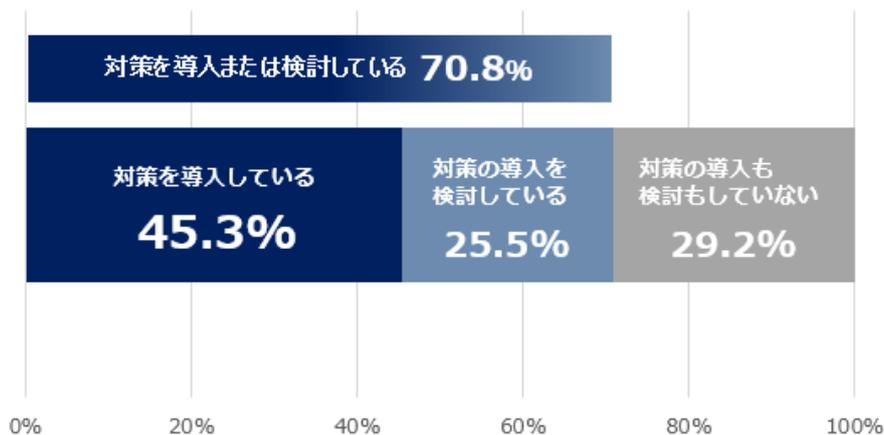
Q. あなたの勤務先では、クラウドメール障害対策を導入していますか。または対策導入を検討していますか。（単一回答）

【対象：システム担当者、かつクラウドメールを使っている人】

・「対策を導入している」は 45.3%、「対策は導入していないが導入を検討している」は 25.5%で、合わせて 70.8%がクラウドメールの障害対策を導入または検討しています。一方、「対策の導入も検討もしていない」は 29.2%です。

クラウドメール障害対策の導入状況・導入予定

(クラウドメール利用企業のシステム担当者のみ、「その他」「わからない・答えられない」を除く、n=319)



Topic4. 企業規模が大きいほどクラウドメールの障害対策の導入率が高いが、5,000人以上の大規模企業でも2割弱が対策の導入も検討もしていない

Q. あなたの勤務先では、クラウドメール障害対策を導入していますか。または対策導入を検討していますか。（単一回答）

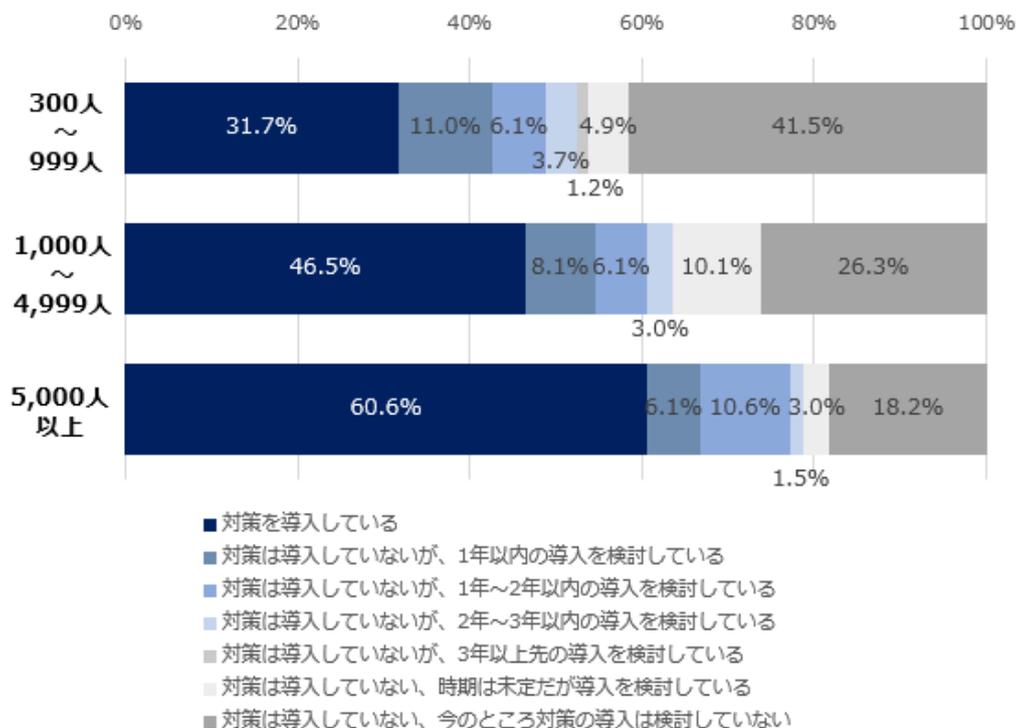
【対象：システム担当者、かつクラウドメールを使っている人】

- ・クラウドメールの障害対策を導入している割合は、企業規模別では、従業員300人～999人の企業は31.7%、従業員1,000人～4,999人の企業は46.5%、従業員5,000人以上の企業は60.6%と、企業規模が大きいほど、クラウドメールの障害対策の導入率が高いです。
- ・一方、「対策は導入していない、今のところ対策の導入は検討していない」は、従業員300人～999人の企業は41.5%、従業員1,000人～4,999人の企業は26.3%。従業員5,000人以上の企業は18.2%。大企業からクラウドメール障害対策が普及している様子が明らかになりました。今後、中小企業でもスタンダードなシステムとして、より普及が進むことが予想されます。

【企業規模別】

クラウドメールの障害対策の導入状況・導入予定

（クラウドメール利用企業のシステム担当者のみ、「その他」「わからない・答えられない」を除く、n=319）



■ 調査結果について（本調査を主催したサイバーソリューションズのコメント）

Microsoft 365 や Google Workspace などのクラウドサービスは、自社内での運用・管理の負担が少ないこと、ユーザはどこからでも利用できることなど、企業に多くのメリットがあります。新型コロナウイルスの感染拡大を受けリモートワークの普及により、企業のクラウドサービスの利用はさらに増加し、本調査では76.5%の企業がクラウドメールを利用していることが分かりました。一方で、ビジネスでのクラウドメールの利用が増加したことに伴い、しばしば起きるクラウドメール障害による問題も大きくなっています。

本調査結果の Topic2 から、46.4%の企業が1年に1回以上の頻度で業務に支障のあるクラウドメールの障害を経験していることが示されました。Topic3 から、クラウドメールの障害対策を導入または検討している企業は約7割でした。Topic4 から、企業規模が大きいほど対策の導入率は高く、従業員5,000人以上の大規模企業では、約8割が対策を導入または検討していました。

万一の障害や災害発生時の事業継続計画(BCP)は、多くの企業で重要な課題となっています。今回の調査では、大企業からクラウドメール障害対策の普及が進んでいる様子が明らかになりました。今後、より多くの企業や中小企業でもスタンダードなシステムとして、導入が増えることが予想されます。

クラウドメールの障害に備えるサービスとして、サイバーソリューションズは「EMERGENCYMAIL for Microsoft 365 & Google Workspace (エマージェンシーメール)」を提供しています。これは、Microsoft 365、Google Workspace 用バックアップメールサービスです。障害が発生しクラウドメールが使えなくなったときに、すぐに、バックアップに切り替えて同メールアドレスでメールの送受信を継続します。障害復旧後は、バックアップメールでの送受信内容を本体のクラウドメールに移行可能です。メールサーバは国内の複数データセンターにて冗長運用しており、業界最高水準のSLA（稼働実績99.991%）を提供しています。

■【調査レポート：クラウドメール障害の実態調査 2023】

本調査のより詳細なレポートは、下記ページからダウンロードすることができます。企業のメールセキュリティを強化するための情報収集としてぜひご活用ください。

<https://m.cybersolutions.co.jp/44qG7qi>

その他調査レポート、座談会レポート

■【脱 PPAP 問題の実態調査レポート】

「脱 PPAP」は約7割と過渡期、企業規模が大きい企業ほど PPAP 利用率が高く、リスクが懸念される…等の添付ファイルの送受信・PPAP に関する調査結果を公開しています。詳細なレポートは下記ページからダウンロードいただけます。

<https://m.cybersolutions.co.jp/3LiDhxB>

■【『業種別』企業のメールセキュリティ意識の実態調査レポート】

サイバー攻撃への不安が高まっている業種は「医療・福祉」「金融・保険」「卸売・小売」…等のサイバー攻撃の状況に関する調査結果を公開しています。詳細なレポートは下記ページからダウンロードいただけます。

<https://m.cybersolutions.co.jp/3KnPgrw>

■【企業のメールセキュリティ対策の導入実態調査レポート】

企業のメールセキュリティ対策の導入率「フィッシング対策」、「なりすまし対策」が5割前後…等の企業のメールセキュリティに関する調査結果を公開しています。詳細なレポートは下記ページからダウンロードいただけます。

<https://m.cybersolutions.co.jp/3oqC65Z>

■【メール誤送信の実態調査 2023】

電子メールを別の人に誤送信した経験者はおよそ4人に1人…等のメール誤送信に関する調査結果を公開しています。詳細なレポートは下記ページからダウンロードいただけます。

<https://m.cybersolutions.co.jp/3NjUOpv>

■「PPAP 問題への対応とメールセキュリティの現実解 座談会レポート」

サイバーソリューションズ株式会社営業本部マーケティング部部长 國分隆博と、PPAP の名づけ親である合同会社 PPAP 総研の代表社員 大泰司章氏、企業のセキュリティインシデント対応行ってきた Internet Secure Services 株式会社最高責任者の徳田敏文氏の3名で「PPAP」をテーマに対談をしたレポートです。

下記ページからご覧いただけます。

<https://m.cybersolutions.co.jp/41uw5np>

■会社概要

会社名：サイバーソリューションズ株式会社(英文表記：CyberSolutions Inc.)

代表者：代表取締役社長 林 界宏

設立：2000年1月 資本金：100,000,000円

本社：〒108-0073 東京都港区三田 3-13-16 三田 43MTビル 14F

TEL：03-6809-5858 / FAX：03-6809-5860

事業内容：クラウドサービスやソフトウェアパッケージの企画／開発／販売／サポート

メッセージングシステム全般に関するコンサルティング

ASP・SaaS 事業向けクラウドシステムの提供及び構築支援

初期コンサルティング、導入支援、カスタマイズ、バージョンアップ支援等 など

URL：<https://www.cybersolutions.co.jp/>

＜本件に関するお問い合わせ先＞

サイバーソリューションズ株式会社 広報デスク(株式会社 MOPS 内) 担当：立林・八代

TEL：03-6452-9191 E-mail：tatebayashi@mops-pr.net 携帯：070-4424-4891(立林)